

ファミリーキャンプ体験

親子でいっしょに仲良しキャンプ in 荒神山 開催しました！

10月15日（土）から16日（日）にかけて、荒神山自然の家において「家族と一緒に仲良しキャンプ」、ファミリーでのキャンプ体験会を開催しました。

この体験会は、家族を対象に、荒神山自然の家でのキャンプや野外炊事等を通じて、野外体験活動の楽しさを体験しながら、家族間の交流を図ることを目的に、例年実施しているものです。前日までの天気は、天候も穏やかな日が続いた中での実施となり、開催した2日間も、絶好の秋晴れに恵まれ、予定通りの活動ができました。途中、週間天気予報では、2日間が雨予報が続き事前研修の際には、雨の場合の家族タイムの持ち方やテント泊の代替案などさまざまな場面の設定を再考しました。結局は実行することなくお蔵入りとなりましたが、これも気まぐれな天気の愛嬌と笑って済ませるしかないと感じています。

初日の15日の午後1時からはじまりました。市内から3家族、市外からも2家族、以上合計19名が参加されました。年齢も最年少は幼稚園年長児、そして小学校低学年、高学年、中学生そして、高校生。保護者も幅広い層からご参加していただきました。また、参加家族も親子2人の家族もあれば、5人の家族もありいろいろでした。



まず、不安と緊張の中で集まったファミリーの緊張を解きほぐすために家族紹介を行いました。天候もよかったので、クラブ棟前で所員、参加者、支援スタッフ一同がサークルを作り

自己紹介タイムです。いろいろな動きあり、意外な展開ありで面白おかしく過ごせました。家族同士・子どもたちが打ち解けあ

った後、就寝場所となるテント設営を行いました。テントを立てたことがない家族も、みんなが協力し合い組み立てました。自然の家保有のテントを設営しましたが、テント設営は複数でないとなかなか進みません。お互いに助け合っ



てテントサイトに無事テントを張ることができました。特に、人数が少ない家族への手助けや支援スタッフの頑張る姿が目につきました。

その後、タマネギの皮を使ってそれぞれの家族が持ってきていただいたTシャツやハンカチ、タオルなどを染め付けました。た



こ糸や輪ゴムを使ってオリジナルの模様ができあがります。まず、タマネギの皮をどれだけ入れるかで染まる濃さが違うことは、事前に試してみてもわかりました。従って、皮の量を家族で決めて、大

なべに入れて煮出します。約20分ほどでほどよい色になりました。染色液の色は、タマネギの皮の色、明るい土色です。皮を取

り出し、染め付ける布を入れ、また20分ほど炊き出します。そして、あらかじめつくっておいたミョウバン液につけると、途端に鮮やかな黄色になります。

この不思議な出来事に皆さん驚いておられました。そして、どのような模様になるかは、ほどいてわかるので、糸をとるときに少しのドキドキ感があって楽しめました。



そして、夕飯の準備に。夕飯は野外炊事です。メニューは、「パエリヤ」「コンソメスープ」です。それぞれの家族が協力して、火をおこし、野菜を切り分けて米を入れ炊きあげます。一方で、ウ



ィンナー、キャベツ、タマネギ、ほうれん草を入れスープづくりです。今回のコンテンツは、普段使わないダッチオーブンをを使った料理です。最近のキャンプブームで認知度は上がってきましたが、あまり使ったことのない道具に多少の戸惑いもあり

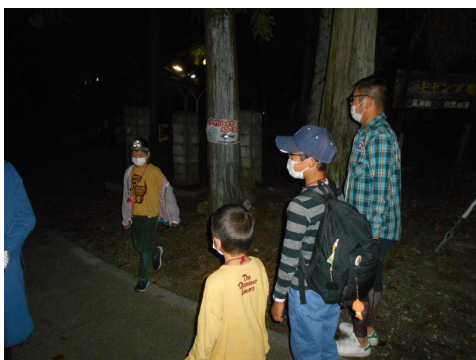
ました。このダッチオーブンは、慣れるととても使い勝手のいい道具で、煮る、炊く、蒸すなどの行程が同時に進行する優れたものです。みんな自分たちの作った夕ご飯を、夕暮れの中で美味しそうに食べておられました。

その後は家族タイムです。家族で思い思いの時間を過ご



していただこうとあえて全体を共通しての設定は計画段階でしないでおこうということにしました。

野外散策（ナイトハイク）に出かける家族、星空の観測をする家族、かがり火ファイヤーやスウェーディッシュトーチで炎を見つめる家族、テントで遊びやゲームをする家族などさまざまでした。しかしながら、非日常の家族共有の時間を過ごせたことはどの家族にあっても、貴重な時間となりました。



それぞれの活動からテントサイトに戻り、いよいよ就寝です。一日の心地よい疲れを癒し、ゆっくり過ごしました。夜になると一段と寒くなると思っ
て、布団や毛布をテントの中に仕込んで、万全の対策をとっていましたが、幸い思っていたよりも寒くならずすみ、中には眠れなくて遅くまで起きていた方もありましたが、気づくと、いつの間にか、みんな、すやすやと寝息を立てていました。

2日目の16日（日）は、予定では朝6時30分の起床です。しかし、毎日の日課で朝の目覚めの早い家族は、まだみんなが寝息をたてている前から起き出しました。早朝は、肌寒さを感じる



グコーヒーとしゃれ込む家族もありで、さまざまでしたが、ぐ

ので、みんな揃ってウォーキングする家族もあれば、モーニン



っすり眠れた人も、そうでない人も、みんな揃って、気持ちよく新鮮な空気を身体いっぱいに感じました。



その後は、朝食を食べてから、それぞれが寝たテントの後片付けをしました。そして、2日目のメイン活動である創作活動の体験に移りました。

創作活動は、荒神山自然の家が実施している体験活動の一つです。

琵琶湖に流れ着いた流木を加工して、マイスプーンとマイフォークづくりです。幼稚園児の小さな参加者も、器用にのこぎりを使ったり、やすりでこすったりと何とかできることを探して作業をしていました。



創作活動の体験終了後、食堂で昼食のカレーをとった後に、アンケートに記入をしてもらい、終わりのつどいを行って13時すぎに解散となりました。

好天に恵まれる中で、参加してよかった。今度も参加したいとの声をいただきながら、事故等もなく盛況のうちに終わられました。皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

概要

令和4年10月15日（土曜日）と16日（日曜日）の2日間、「家族と一緒に仲良しキャンプ」を開催しました。

当日は、キャンプ場のテントサイトで家族テント泊をしました。まず、タマネギで染め物工作をしてその後、夜は野外炊事でパエリヤとキャベツとウィンナーのコンソメスープを、朝にはカートンドッグを作りました。クラフトは、家族で協力してマイスプーンとマイフォークづくりをしました。そのスプーンとフォークでお昼のカレーをみんなでおいしくいただきました。